

# 平成26年度 事業概要

## 事業概要発行にあたり

TASCは、平成26年度も内容の濃い活動を、皆様方のご協力・ご支援により数多く行うことが出来ました。以下に事業の概要を紹介させて頂きます。

### 講演会

#### 航空宇宙講演会 in Tochigi 2014

##### 宇宙はどのように生まれたのか? —インフレーション理論・観測的実証への期待—

■平成26年12月4日 宇都宮市文化会館 約460名  
■自然科学研究機構 機構長 佐藤 勝彦 氏

「宇宙は“無”の状態から量子効果で生まれた。極微の量子宇宙はインフレーションと呼ばれる加速的膨張によって急激に大きくなつた。加速膨張が終わるとき、宇宙は超高温に加熱されビッグバン宇宙になった。宇宙の温度が下がるにつれ、インフレーション時代に仕込まれた密度の揺らぎが次第に成長し、星や、銀河、銀河団が生まれ今日の豊かな構造を持った宇宙となつた。」このシナリオは一般相対性理論や素粒子物理を駆使して描き出された現代宇宙論のパラダイムである。近年、ハイテクを駆使した人工衛星を用いた観測が進み、ビッグバン宇宙創生の理論、インフレーション理論を裏付ける観測が多く発表されるようになった。ここではインフレーション理論と、観測の進歩を振り返りながら最新の重力波観測の現状も解説。



## 特別企画見学会 (株)牧野フライス製作所 富士勝山事業所・MSL施設見学会

■平成26年7月9日

■見学先:

(株)牧野フライス製作所 富士勝山事業所  
MSL施設 於:山梨県勝山

■見学内容:

- ・難削材加工の取り組みについての紹介
- ・加工デモンストレーション
- ・MSL(先端ラボ)内見学

■参加人員:24名



## Teikyo-Sat 『TeikyoSat-3』プロジェクト

帝京大学理工学部(宇都宮キャンパス)の工学系クラブ「宇宙システム研究会」が小型人工衛星の開発に取り組んで5年。学生が設計・製作を行った小型人工衛星「TeikyoSat-3」は平成26年年2月、JAXA(宇宙航空研究開発機構)のH2Aロケットに相乗りりして、宇宙に打ち上げられました。この一連の活動に於きまして、平成26年12月4日、栃木航空宇宙懇話会様主催「平成26年度航空宇宙講演会」にて表彰を頂きました。



## 月例研修会

■第82回月例研修会

■期日: 平成26年6月18日(水)

■研修会概要:

講師:

慶應義塾大学大学院  
システムデザイン・マネジメント研究科

特任准教授

湊宣明(みなと のぶあき)様

テーマ:

『航空宇宙経営学のすゝめ  
-航空宇宙ビジネスのためのシステムデザイン論-』

■参加者:69名



■第83回月例研修会

■期日: 平成26年9月17日(水)

■研修会概要:

講師:

株式会社牧野フライス製作所 加工技術部  
カスタマー応用ソリューションズグループ

マネージャー

上野 裕司(うえの ひろし)様

テーマ:

『航空機部品加工セミナー:  
生産コスト最小化を実現する最適設備と先端技術』



■参加者:79名

■第84回月例研修会

■期日: 平成26年10月27日(木)

■研修会概要:

講師:

JAXA宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系  
教授

森田 泰弘(もりた やすひろ)様

テーマ:

『イプシロンロケットの挑戦』

■参加者:79名



■第85回月例研修会

■期日: 平成27年2月18日(水)

■研修会概要:

講師:

特定非営利法人 経営支援NPOクラブ  
正会員

佐藤 敏夫(さとう としお)様

テーマ:

『航空産業の現況並びに風力発電ビジネス』



■参加者:54名